
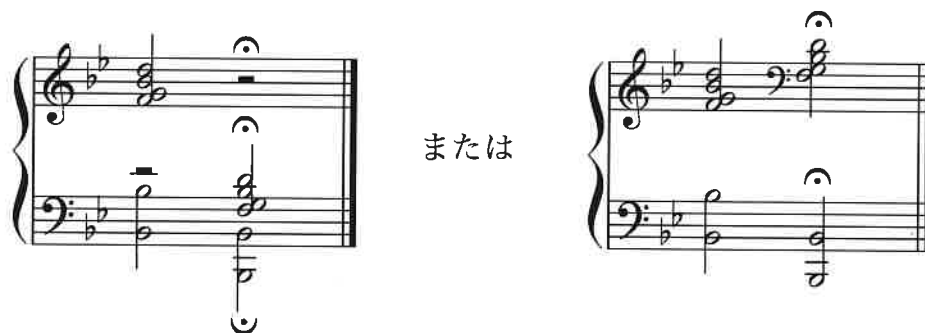


『夢の記憶』寸評

- ・とても内省的な作風を感じる
- ・全体的にやや過剰気味なブ厚い和音が繰り出され
暖かいおふとんにスッポリくるまっているような印象
- ・夢の中多くの音で守られているとの感覚を喚起する
- ・シューマン／トロイメライをおもいだした
- ・特にまとまりをつけない流れがタイトルと合う

完成度をさらに上げるために

- ・ m.10, m.12の左手分散和音 第3音を抜いたほうが響きはスッキリする
ロー・インターヴァル・リミットに抵触するため
- ・ 一般的に長三度、短三度の限界→ 
- ・ m.13-16ペダル指定すると休符の意味がなくなってしまう
- ・ m.16 b.3-4 左手は両手で取れるように書き分けると奏者に親切



または

- ・ m.13-14メロディとしても和声、リズムの変化としても
次のようにわたしだったら手を加えてみたい



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

すてきな時を運んでくれるような
作品でね。
持麿 勉